



「熱い」40日間スタート！！

## 「これだけは絶対に」を決めよう

いよいよ約40日間に渡る「夏休み」が始まります。課外・就職進学対策・当番・部活動…と忙しい毎日とはいえ、夏休みにしかできないことがたくさんあります。9月に後悔しないよう、やるべきことを冷静に見極めましょう。

例えば「苦手分野の克服」。3年生にとっては「受験の天王山」、受験までに腰を据えて取り組める「ラストチャンス」なのは言うまでもありません。

しかし実は1・2年生にとっても同様です。期末考查や7月の進研模試、復習しましたか？志望校とのギャップを感じていませんか？苦手科目を克服するためのまとまった時間は意外と取れないものです。3年生の多くが「1・2年のうちにやっておけばよかった…」と感じているはずですよ。

2年生（普通科）の夏季課外は今年度から午前中のみになりましたが、「自宅学習時間の確保」も大きな理由の1つです。各自で事前にしっかりと学習計画を立て、有意義な夏休みにしてください。

夏休みを充実させるためには、「この夏にこれだけは絶対に取り組む」という学習内容を決め、夏休みを走破できるような計画を立てましょう。最終的に「夏休みにこれだけ勉強したのだからきっと大丈夫」と思える状態を迎えられれば、「夏休みの努力を無駄にするわけにはいかない」と、秋以降の学習にもはずみがつきます。夏休みの過ごし方が分かれ道ですよ！！

## 夏休みを自分の味方にするポイント

では、絶対に後悔しない夏休みのために過ごし方のアドバイスです。

### 1. 「夏休みを4つに分けて」計画を立てる

長い夏休み、学習計画を考えるのが難しいという人も多いと思います。そこで、夏休みを次の4つの時期に分けてみましょう。

①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画が立てやすくなります。

### 2. 課題を最優先で学習する

まずは夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで復習ができます。

### 3. 無理のない計画を立てる

学習内容を確実に理解するためにも、無理のない計画を立てるようにしましょう。週に1日「予備日」を設けるなど、予定通り進まなかった場合に遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

### 4. 苦手分野の復習に取り組む

最初に述べたとおり、夏休みが苦手教科を克服するチャンスです。苦手だと感じている分野がある人は、ぜひここでしっかり復習に取り組んでみましょう。教科担任の先生には、遠慮なくアドバイスを求めましょう。種子島の先生方は常に皆さんの味方です！

### 5. 毎日の学習記録をつける

何時間学習したか、計画通りに学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。



## 宅習時間調査（6月）の結果より

全学科において、過年度と比較すると年々自宅学習時間が減少しており、携帯電話の使用時間が増加している傾向があります。自宅での過ごし方をもう一度見直してみましょう。

ちなみに、東進ハイスクールが旧帝大（国公立）合格者の1日平均自宅学習時間を調査したものが右の表です。どうでしょうか？

	文系	理系
高1	2.22h	2.55h
高2	2.60h	2.90h
高3	5.96h	5.21h
平均	3.59h	3.55h

さて、いよいよ夏休みです。3年生だけでなく1・2年生も、各大学・短大・専門学校で行われるオープンキャンパスに積極的に参加して、自分の将来を考えるヒントを得ましょう。

ただし、①移動や宿泊などの金銭的負担②行った学校しか選択肢に入らなくなり他の学校を検討しなくなる…などには注意です！視野を広げましょう。

では、**Have a nice summer vacation! (^\_^)/**



やる気スイッチ